

施策評価管理シート

2021(令和3)年6月作成

施策体系	政 策	5	未来につなぐ自立と協働による市政経営		
	基本施策	1	協働のまちづくり	担当部局(室)名	部局長名
	施 策	3	多様な主体による協働の推進	地域環境部	宮崎 正秀

1. 施策の基本方針(目指す将来像)



○ コミュニティ活動や市民公益活動を行う団体を含めた市民、市議会、市などの多様な主体が、それぞれの特性を理解し、互いに尊重し合い、協働してまちづくりに取り組むことを促進します。

2. 令和2年度の実績内容及びその成果



- ・地域づくり組織代表者会議では、意見交換、市議会議員との懇談、他自治体や目的別団体と交流など、地域課題を共有し協働してまちづくりに取り組みました。
- ・地域住民、地域づくり組織役員や市職員などを対象にしたゆめづくり協働塾では、リモートでの研修や意見交換会を行いました。地域づくりの組織力をさらに充実させていくため他地域の実践者を招き、シンポジウムを行いました。コロナ禍のため会場では人数制限を設けましたが、動画配信を行い、多くの市民の方にご覧いただける状況にしました。
- ・名張学園祭では、市内の若者が主体的に企画運営を行い、地域づくり組織がそれらの活動を支援しました。また、地域づくり組織会長らには、高校生の市への事業提案など若い声を意見を聞く機会を設け、若者との連携や新しい事業展開をつなげるヒントにいただきました。

3. 施策指標(目標)の達成状況



施策指標(目標)の内容(単位)		基準値(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	進捗率
市民協働によりまちづくりが行われていると感じる市民の割合(%)	目標	-	-	-	-	-	60.0	
	成果	50.1	52.9	52.8	53.4			33.3%
市民活動支援センター事業の参加者数	目標	-	-	-	-	-	100	
	成果	78	56	58	57			0.0%

4. 成果や施策指標の状況を踏まえた課題や現状の分析



- ・コロナ禍のため、人数を制限しながら広い会場を使い事業を開催しました。
- ・市民意識調査では、特に地域差や世代間(年齢による)大きな差はなく、住宅地域や若い世代でも半数の方が市民協働によるまちづくりが行われている認識を持っていることが分かります。
- ・市民公益活動は地域づくり組織を中心にさまざまな分野で展開されていますが、まだ、多くの事業者との連携、行政との協働や市職員の推進体制など意識改革が進んでいません。

5. 分析結果を踏まえた施策の実行内容(令和3年度以降)



- ・多様な主体による協働のまちづくりが、より一層進められるよう、市内外に向けて取組を発信します。
- ・これまでと同様に、地域づくり組織のより効率的、効果的な事業運営や経営能力を高めることを目的としたゆめづくり協働塾を開催します。
- ・地域おこし協力隊の就任により、地域づくり組織の活性化や地域間の連携による全市的な取組を検討していただきます。
- ・現在の地域づくり組織の範囲の活動だけでなく、地域間の連携、目的別団体や企業との連携を進め、地域の活性化を図ります。
- ・市職員へは、協働を学ぶ研修会や地域活動に参加するような呼びかけを行います。